

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: R6年 2月 29日

事業所名: Musicco step

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	法令に遵守したスペースを確保している。	はい 21名 どちらともいえない 1名 いいえ 0名 分からない 1名 ・放デイ利用人数にもありますが、高学年だと手狭なように思います。	法令に遵守したスペースを確保していることを契約時に説明しているため、引き続き丁寧に説明していく。
	2 職員の適切な配置	法令に定められた人員を確保している。事業所の特色としている音楽療法を専門とする職員を1名、ビジョントレーニングの資格を保持している職員を3名配置している。ルネス花北の訪問支援事業を利用し、理学療法士と支援方法の連携をしたり、専門的な支援のアドバイスをもらう予定。	はい 21名 どちらともいえない 1名 いいえ 0名 分からない 1名 ・教員資格ありの方はいるが、言語聴覚士など専門の資格保持者がいない。	契約時の説明を徹底する。新しい職員がいる場合は、Musiccoだよりなどに紹介する形で記載し、保護者にも伝えるようにする。ルネスとの連携で専門資格保有者の意見も積極的に取り入れ、療育に活かしていく。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	療育室内は段差がなく、バリアフリー化されている。トイレにも手すりや踏み台を設置するなど工夫している。	はい 21名 どちらともいえない 0名 いいえ 0名 分からない 2名	自校は保護者が療育室内に入ることが無いので、療育室内の環境を知ることができないと思われる。見学時や契約時など、保護者が来所した際に室内設備について説明を行う。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	机や玩具などのアルコール消毒を実施している。椅子は利用人数に応じてその都度準備している。	はい 21名 どちらともいえない 0名 いいえ 0名 分からない 2名	上記同様、保護者へ説明を行う。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎日朝礼を行い、パート職員を含めた職員全員で子どもの様子や業務に関する情報共有を行っている。(朝礼に参加できない職員には朝礼ノートを用いて共有)個別支援会議を月に3回程度実施、参加できない職員には議事録の回覧を行い、目標設定と振り返りを行っている。		パート職員の出勤回数にはばらつきがあり、朝礼ノートを十分に確認できないまま業務に入ってしまうこともある。運用システムHUG上にて朝礼記録を作成することにより、個人情報の流出に配慮しつつ、パート職員が出勤していない日やその日の出勤前までに自宅からでも朝礼内容を確認できるよう、目標設定や振り返りを徹底する。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	外部の専門家(公認心理士)によるコンサルテーションを実施し、環境設定・療育内容等について助言を頂く機会を設けている。		公認心理士のコンサルテーションのほかにも、ルネス花北の訪問支援事業を今後も活用し、環境設定・療育内容等について助言をいただく。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	2か月に1回程度の職員研修と、入職者への研修を行っている。		
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	保護者からアセスメントシートや面談による聞き取りを実施し、日々の子どもの姿から支援計画を作成している。		
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別でのビジョントレーニングや集団での活動プログラム等、状況に応じた関わりを意識できるよう計画書にも記載している。	はい 22名 どちらでもない 0名 いいえ 0名 分からない 0名	
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	具体的な目標や支援内容を設定し、保護者への説明を実施している。		
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	計画に基づいた支援を行っている。保護者が確認するサービス提供記録にて、個別支援計画の項目に沿った記述を行い、支援の実施や振り返りについてより分かりやすく伝えられるようにしている。モニタリング時に支援内容が適切に職員間で検核を行っている。	はい 20名 どちらともいえない 0名 いいえ 0名 分からない 0名 ・いつも適切な支援をして頂きありがとうございます。 ・特性を把握した上で支援がなされていることを毎度報告しているためです。	
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	その日の担当が主に内容を考え、職員間で話し合い、詳細は全員で考えている。		
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	午前中に児童発達支援・午後に放課後等デイサービスを運営しているため、長期休暇中も平日と同じ提供時間となっており、長期休暇に合わせた対応は現状出来ていない。土曜日は長時間預かりの機会を設けている。	はい 2名 どちらともいえない 1名 いいえ 0名 分からない 0名	
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	同じような内容のプログラムが続かないよう、これまでの活動内容を振り返ったり、職員間で話し合う機会を設けることで工夫している。		
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	毎朝朝礼を行い、その日の支援内容や役割分担について確認を行っている。		運用システムHUG上にて朝礼記録を作成することにより、個人情報の流出に配慮しつつ、パート職員がその日の出勤前に自宅からでも朝礼内容を確認し、その日の支援内容や役割分担について共通理解できるようにする。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後は、サービス提供記録の記入業務に伴い、当日の子どもの様子について振り返りを行っている。特に共有すべき事項については翌日の朝礼にて報告とノートへの記入を行い、すべての職員に伝達できるようにしている。		
	10 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	保護者向けのサービス提供記録にはその日の詳細な支援内容を記録している。児童発達支援は、個別療育のためサービス提供記録とは別に、詳細な記録を残している。放課後等デイサービスにおいては、その日の姿を振り返っての反省や次回に向けての改善策について、口頭での話し合いはあるものの、保護者向けのサービス提供記録への記載のみとなっており、実際の支援		業務量の兼ね合いから、新たな記録様式を作成することは困難。そのため、既存のサービス提供記録を活用していく。朝礼前に放デイの療育担当者が一人一人の前回の記録を振り返り、当日の療育で検証・改善することについてリストアップ、朝礼にて他職員に共有する。
11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	支援計画は定期的に職員間で共有し、モニタリングを行っている。			

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	サービス担当者会議には、子どもの支援計画を立てている児童発達支援管理責任者が参加している。		
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間の支援内容等の十分な情報共有	『共有ファイル』を紙面にまとめ、学期に1回園へ共有。日々の療育内容や支援方法を園へ伝えるようにしている。就学先への提出も保護者を通じて実施予定。		
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	現在、利用児が小中学生のみなので、卒業後の進路先への情報共有等は行っていない。		
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	専門機関との繋がりがあがる子どもに関しては、サービス担当者会議等で連携を行うことがある。ルネス花北の訪問支援事業を利用し、理学療法士と支援方法の連携や専門的な支援のアドバイスをもらう予定。		
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	障害のない子どもとの交流、と銘打って計画はしていないが、土曜日プログラムで出かけた先(公園や水族館、教育万博講演会など)で、地域の子どもと交流しながら遊ぶ機会もある。	はい 5名 どちらともいえない 3名 いいえ 5名 分からない 9名 ・土曜日のプログラムで社会に出る活動があり、良いと思います。 ・定型発達の子と触れ合う機会は設けられていない。	毎月発行しているMusiccoだよりや、個別のサービス提供記録にて、障害をもたない子どもと関わった姿なども詳細に記載し、保護者に伝えられるようにする。現在活用できていないが、運営システムHUGの『活動記録』(ブログ記事形式)も利用し、月1回のMusiccoだよりには書ききれない内容も保護者に伝えられるよう発信する。
8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	お出かけプログラムにて、事業所利用児のみならず、兄弟児を含む地域の子ども達を招いた行事を計画していたが、参加人数や実施場所の兼ね合いで実現には至らなかった。	はい 5名 どちらともいえない 3名 いいえ 4名 分からない 9名	今回の計画していたプログラムは事業所と離れた施設での活動を予定していたため、参加者が集まりづらくなってしまった。実現可能な方法を考えていく。	
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	初回の契約時に管理者から説明がなされている。	はい 22名 どちらともいえない 1名 いいえ 0名 分からない 0名	
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	作成した個別支援計画を見せながら、口頭でも説明している。	はい 23名 どちらともいえない 0名 いいえ 0名 分からない 0名	
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレントトレーニング等の支援の実施	昨年9月から11月にかけて、全6回のペアレントトレーニングを実施した。家庭での子どもの様子や日々の関わり方の振り返り・サポートブックの作成等を行った。	はい 20名 どちらともいえない 2名 いいえ 0名 分からない 1名 ・子どもの様子を伝え合うことはあるが、具体的に家でどのように対応すればよいか、できることがあるか、アドバイスをもらいたい。	活動に関するこの場合は、サービス提供記録にて丁寧に記載する。(単なる報告でなく、家庭で関わる時のアドバイスもできるように意識する。)家庭での困りごとなどについても、保護者が気軽に相談できるような関係作りを行う。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時に保護者と最近の様子について話したり、サービス提供記録のコメントで保護者が記入したものを確認したりしている。	はい 22名 どちらともいえない 1名 いいえ 0名 分からない 0名	その日の状況によっては送迎時に十分に話ができないこともあるので、時間のある時を見つけて日頃から共通理解の徹底を意識する。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	半年に1回の面談時や保護者から電話で相談があった際に対応している。保護者や子どもの様子を見て、何かあった時は職員から声掛けすることを意識しているが、頻繁な面談は実施できていない。	はい 21名 どちらともいえない 2名 いいえ 0名 分からない 0名 ・記録を詳しく記入してくださっていて分かりやすい。 ・個別支援計画作成のための面談はあるが、それ以外は自主的に言わなければ行われぬ。2	保護者の生活スタイルも様々なので、基本的には半年に1回の面談としているが、必要に応じてこまめな面談や、園・小学校と連携して支援者会議なども実施できることを保護者に周知する。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	現状、保護者会は実施出来ていない。ペアレントトレーニングの際に、参加した保護者同士で関わる機会があった。	はい 9名 どちらともいえない 4名 いいえ 3名 分からない 7名 ・何かあれば参加してみたいです。	ペアレントトレーニングの機会を利用し、前年度までの受講者を集めた座談会や、受講者以外も参加できるような保護者の会の実施を検討する。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	契約時に、苦情がある場合の連絡先を記載した重要事項説明書を渡している。保護者からの要望については個別かつ迅速な対応に努めているが、個人情報の観点から、子どもや保護者への周知は行うことができていない。	はい 14名 どちらともいえない 0名 いいえ 0名 分からない 7名 未記入2名	来年度の自己評価アンケートの際に、要望や気になることを匿名で記入できる自由記述欄を設ける。玄関等に要望内容と改善策・対応策を掲示し、共有する。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	子どもに合わせたコミュニケーションツール(絵カード・写真カード等)を使い、意思の疎通を計っている。	はい 20名 どちらともいえない 1名 いいえ 0名 分からない 0名 未記入2名	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月事業所だよりを発行し、活動内容の紹介や行事予定などを発信している(LINEのオープンチャットを活用)。玄関にも印刷したものを掲示し、より広く共有できるよう工夫している。	はい 21名 どちらともいえない 0名 いいえ 0名 分からない 0名 未記入2名	
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報に関する書類が入った棚は鍵付きにしている。	はい 21名 どちらともいえない 0名 いいえ 0名 分からない 0名 未記入2名	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	作成したマニュアルは職員間で共有している。保護者への周知が出来ていない。	はい 16名 どちらともいえない 0名 いいえ 0名 分からない 5名 未記入2名	希望があれば、いつでも閲覧できるようにしておく。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	職員室に災害ハックを備えたり、避難訓練や防災教育を活動に取り入れれたりしている。避難訓練の様子はMusiccoだよりに記載し、その日利用していない保護者にも伝わるよう工夫している。実際に避難場所まで行くような避難訓練は土曜日にしか実施できていない。	はい 13名 どちらともいえない 1名 いいえ 0名 分からない 7名 未記入2名 ・平日にも避難訓練があっても良いと思います。	今年度、平日にも防災教育を実施する予定。平日は子どもの体力や預かり時間を考慮しつつ、無理のない範囲でできることを実践していく。引き続き、Musiccoだより等を通して訓練の様子を周知していく。
	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	職員全員で虐待防止研修を受講している。厚労省が発行している虐待防止マニュアルを読み、職員室にも保管している。		
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	契約時に、やむを得ず身体拘束が必要な場合は個別支援計画に記載し、保護者に同意を得ることを伝えている。送迎車を利用する際に身体拘束が必要な可能性のある児童がいるので、保護者の同意のもと個別支援計画に記載。必要に応じた支援の実施、危険を伴う事象が生じた時は保護者への伝達を行っている。		新年度に向けて、身体拘束が必要となる児童の保護者には支援計画の確認と同意を得る。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	該当する児童の利用がない。		
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	子ども・職員共にヒヤリハット事例が起こった場合は、記録を残すことと回覧・共有することを徹底している。職員室内のハザードマップにヒヤリハット事例が記載された付箋を貼り、危険な場所を職員間で共有できるようにしている。		